

国立大学法人 豊橋技術科学大学「社会人向け実践教育プログラム」  
文部科学省 職業実践力育成プログラム（BP）認定  
豊橋市 次世代「農力」UPアカデミー事業

## 「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」 平成29年度第6期生募集要項

豊橋技術科学大学は、愛知県、豊橋市、田原市、などの地域自治体や地元企業と連携して、豊橋技術科学大学「社会人向け実践教育プログラム」、豊橋市次世代「農力」UPアカデミー事業において「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」を実施しており、文部科学省の職業実践力育成プログラム(BP)に認定されています。

愛知県東部の東三河地域は、国内有数の先進的農業地帯ではありますが、近年の輸入農産物の拡大、光熱費の高騰、高齢化等により農業生産額が低迷しています。豊橋技術科学大学では、光・電子技術などの工学的知識と農業技術が習得できる人材育成プログラムを開発し、『最先端植物工場マネージャー』を養成します。これによって競争力のある攻めの農業を展開して、基幹産業である食農産業を活性化し、地域再生化を図ります。

そこで、平成29年度「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」の受講生を以下の要領で募集します。

- 1 募集人員 :最先端植物工場マネージャー育成プログラム第6期生10人
- 2 受講期間 :平成29年12月～平成31年3月
- 3 受講場所 :国立大学法人豊橋技術科学大学キャンパス他

#### 4 人材育成内容

豊橋技術科学大学等がこれまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、IT技術を農業に導入するための新たな植物工場的技術について講義、実習を行い、次世代の農業である植物工場の管理運営をできる人材を育成します。

受講者は先端基礎農学特論、植物工場栽培管理学特論、光合成環境制御工学特論、植物工場経営管理学特論および課題解決技術科学研究、国内および海外先端施設研修を履修・修得した人に豊橋技術科学大学から『植物工場管理経営士』と『IT食農先導士』の称号が授与され、履修証明書が交付されます。

先端基礎農学特論の6科目を教室講義(4か月)で受講した後、植物工場栽培管理学特論、光合成環境制御工学特論、植物工場経営管理特論の各6科目をe-ラーニングによって履修します。課題解決技術科学研究は、国立大学法人豊橋技術科学大学キャンパス内の植物工場または近隣植物工場等において週1日程度の調査研究を行い、実際の営農場面に役立つ新技術開発に関する調査研究論文を取りまとめ、地域の学会及びシンポジウムなどで広く発表し

ていただきます。

「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」修了者には、豊橋技術科学大学IT農業サポートセンターを通じて、最新のIT情報と農業情報が提供され、IT農業ネットワークを形成しながら地域の中核農業者となる道が開かれます。また「植物工場管理経営士」および「IT食農先導士」は、愛知県や豊橋市等の地域自治体、JAあいち経済連、食農関連企業および、地元企業などと連携した活動の支援を受けることができます。農商工連携、農業の6次産業化のノウハウも得ることも可能です。

## 5 受講資格

- (1) 高等学校卒業程度の学歴を有している人  
(本学において、同等以上の学力があると認められた者を含む。)
- (2) 心身ともに健康で、食農産業の振興に強い関心を持っている人
- (3) パソコンを使いこなすことができ、自宅でインターネットへの接続ができる人
- (4) 週1日程度の調査研究に従事できる人
- (5) 国内・海外の先端施設研修(実費個人負担)等に積極的に参加できる人

## 6 授業時数 495 時間

- (1) 教室講義 6科目 75 時間
- (2) e-ラーニング 18 科目 180 時間
- (3) 先端施設研修 60 時間〔国内外計6回〕
  - ① 海外 1回(前年度:韓国3泊4日),実費個人負担
  - ② 国内 5回(主として東海地域)
- (4) 課題解決技術科学研究 180 時間

## 7 受講料 5 万円 (ただし、海外の先端施設研修等で実費個人負担がある場合があります。)

## 8 応募書類

応募書類は、本事業URLから取得し、豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター内最先端植物工場マネージャー育成事業推進宛に提出してください。

※提出された応募書類は返却しません。

- (1) 様式1 「志願書」
- (2) 様式2 「履歴書」
- (3) 様式3 「志望動機」 【1,000字程度】
- (4) 様式4 「小論文」 【1,000字程度】

## 9 出願期間:平成29年9月1日(金)～10月20日(金)当日消印有効

## 10 選考方法:書類審査により選考を行い、場合により面接を行うことがあります。

※選考結果は、合否にかかわらず11月20日(月)までに書面でお知らせします。

## 1 1 応募書類の作成要領

応募書類は、志願書、履歴書、志望動機および小論文が必要です。以下の各項を参照の上作成してください。

### (1) 志願書(様式1)

・様式1に記載されている全ての欄に記入の上、氏名欄に捺印をしてください。

### (2) 履歴書(様式2)

・写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前6か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。

### (3) 志望動機(様式3)

・本プログラムを受講するにあたり、志願者本人の志望動機をA4判1枚程度(1,000字程度)で作成してください。

### (4) 小論文(様式4)

・『植物工場及び食農産業に関する考え方』というテーマで小論文をA4判1枚程度(1,000字程度)で作成してください。

## 1 2 応募書類の提出・問い合わせ先

応募書類は封筒に入れ、『最先端植物工場マネージャー育成プログラム受講希望』と朱書し、下記の提出先に簡易書留で郵送してください。

提出先・問い合わせ先:〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

国立大学法人豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター

最先端植物工場マネージャー育成事業推進室

電話 : 0532(44)6655, E-mail : manager@recab.tut.ac.jp

● 詳細はホームページ(<http://www.recab.tut.ac.jp/>)に記載しています。

● 応募書類の書式は、<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/manager/entry.html>よりダウンロードしてお使いください。

### ※個人情報の取扱いについて

志願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、本事業の実施に関わる場合にのみ使用し、他には利用いたしません。

様式 1

国立大学法人豊橋技術科学大学 社会人向け実践教育プログラム  
 文部科学省 職業実践力育成プログラム (BP) 認定  
 豊橋市 次世代「農力」UP アカデミー事業  
**「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」**

\* 受付番号

# 志 願 書

* 受付番号

提出日：平成 年 月 日				
ふりがな				
氏 名	印			男 ・ 女
生年月日	年 月 日 生 ( 歳)			
現住所	住 所	〒		
	電話番号 (携帯)		F A X	
	E-mail			
勤務先 (学校名)	会社名 (学校名)		役 職 (学年)	
	勤務先 (学校) 住 所	〒		
	勤務先 電 話		勤務先 F A X	

様式 2

国立大学法人豊橋技術科学大学 社会人向け実践教育プログラム  
文部科学省 職業実践力育成プログラム (BP) 認定  
豊橋市 次世代「農力」UP アカデミー事業  
**「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」**

\* 受付番号

# 履 歴 書

ふりがな  氏 名	写  真
学 歴 (高等学校入学以降で記入してください)	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
職 歴	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
資 格 ( 取 得 年 月 日 )	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

※欄が不足する場合は、別紙 (A4 用紙) に記載してください。

様式 3

国立大学法人豊橋技術科学大学 社会人向け実践教育プログラム  
文部科学省 職業実践力育成プログラム（BP）認定  
豊橋市 次世代「農力」UP アカデミー事業  
**「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」**

* 受付番号

## 志 望 動 機

志望動機【1000字程度】

--

様式 4

国立大学法人豊橋技術科学大学 社会人向け実践教育プログラム  
文部科学省 職業実践力育成プログラム（BP）認定  
豊橋市 次世代「農力」UP アカデミー事業  
**「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」**

* 受付番号

## 小 論 文

小論文【1000字程度】

題目：『植物工場及び食農産業に関する考え方』

--

## 最先端植物工場マネージャー養成プログラム

### 【教室講義】

科目名	内容	日程	講師	
先端基礎農学特論	土壌植物栄養学	栽培の基本となる土壌科学、植物栄養学、植物生理学を講義	2017年12月2日(土) 2017年12月10日(日)	東北大学 名誉教授 三枝 正彦
	農業統計学	資源動植物の生育、収量データを、統計解析演習を含めて講義	2017年12月23日(土) 2018年1月6日(土)	獨協大学 経済学部 李 凱
	資源植物学	水稲、普通畑作物、工芸作物、蔬菜、果樹、花きの特性等を講義	2018年1月20日(土) 2018年1月27日(土)	豊橋技術科学大学 先端農業・ バイリサーチセンター 特任助教 熊崎 忠
	農業経営学	持続的安定農業経営を行うための基礎的理論等を講義	2018年2月3日(土) 2018年2月10日(土)	名古屋大学 名誉教授 竹谷 裕之
	植物保護学	植物の生育を左右する病原菌、害虫の総合防除法などを講義	2018年2月17日(土) 2018年2月24日(土)	愛知県農業総合試験場 環境基盤部病害虫研究室 室長 三宅 律幸
	ビジネスプラン論	ビジネスプランを作成するための経営戦略・事業戦略の立案手法、理論等を講義	2019年2月～3月 を予定しています。	未定

### 【eラーニング】

科目名	内容	講師	
植物工場栽培管理工学特論	施設園芸学	施設園芸の現状、農業生産上の意義、園芸作物の生育反応などの基礎を講義	愛知県農業総合試験場 山下文秋 愛知教育大学 市橋正一 東北大学名誉教授 三枝正彦 豊橋技術科学大学名誉教授 松本 博
	人工光型植物工場論	人工光型植物工場の現状と特徴、今後のあり方を講義	特定非営利活動法人植物工場研究会 古在豊樹 大阪府立大学 植物工場研究センター 小倉東一 玉川大学 農学部生命化学科 渡辺博之 明伸興産株式会社 川本三一
	太陽光型植物工場論	海外の植物工場、ヒートポンプの多目的利用、CO2施用による光合成促進、細霧冷房について太陽光型植物工場を紹介する。	特定非営利活動法人植物工場研究会 古在豊樹
	施設園芸工学	ハウスの種類別構造、光合成から考える採光性と構造、設備および環境制御を講義	イノチオアグリ株式会社 大門弘明、白井恵理、鈴木邦典
	施設栽培システム工学	養液栽培を中心に養液栽培の技術問題、肥料管理、データ管理、トマトの尻腐れ果発生を防止方法について講義する。	静岡大学 農学部 糠谷 明
	生産環境センサ工学	農業生産を左右する環境について、その特徴および最新のセンシング技術等を講義	豊橋技術科学大学名誉教授 松本 博 豊橋技術科学大学 澤田和明、井上隆信 他
光合成環境制御工学特論	光合成システム論	植物生産の基本となる光合成について、その基本原理を講義	東北大学 大学院農学研究科 牧野 周
	植物育種・バイオテクノロジー	生物の様々な代謝反応や先端遺伝子工学の手法と農業分野での応用を講義	早稲田大学 大学院先進理工学研究科 菊池 洋 豊橋技術科学大学 浴 俊彦、田中照通 他
	光、炭酸ガス制御論	光合成要因の光と炭酸ガスについて、植物の生理に及ぼす影響、計測法と制御法を講義	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 滝川浩史 豊橋技術科学大学 先端農業・バイリサーチセンター 山内高弘 トヨタネ株式会社 三浦慎一
	温度、湿度制御論	温度と湿度について、植物の生理に及ぼす影響、計測法と制御法を講義	トヨタネ株式会社 大月祐介 榊原 IT 農業技術士事務所 榊原正典 豊橋技術科学大学 先端農業・バイリサーチセンター 熊崎忠
	複合環境制御学	植物工場における複合環境制御を行うための計測制御と装置を紹介し、コンピューターを利用した制御法を講義	近畿大学 生物理工学部 星岳彦 岡山大学 農学部 安場健一郎
	養液管理論	養液栽培の概要、培養液の処方箋の作り方及びトマトやバラ、イチゴ栽培における培養液管理の具体例を紹介。また、培養液の管理と制御法及び培養補正の仕方とそれぞれのデータの取扱い方法についても講義	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 岩崎泰永
植物工場経営管理工学特論	情報管理論	農業現場に必要とされる農業情報の収集・分析及び加工・配布方法を学ぶと共に、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelによるデータ管理・分析、ネット販売システムの基礎など農業情報のための情報処理ツールを習得する。	愛知県立大学 情報科学部 入部百合絵
	環境経営論	本講義では農業従事者が知っておくべき環境問題（循環型社会、地球環境問題、水質、廃棄物・・・）をわかりやすく解説すると共に、そのような環境影響を評価する方法について学習する。	東洋大学 情報連携学研究科 後藤尚弘 豊橋技術科学大学 井上隆信
	知的財産管理	農業技術やその関連産業で生み出される知的財産の情報管理及び地域特産物のブランド化に関する権利取得法等について学ぶ。	SANSUI 国際特許事務所 井川浩文、小西俊春
	農業マーケティング論	ビジネス創出のために、経営理念の立て方、SWOT分析、マーケティングの基礎知識を講義	MORE 経営コンサルティング(株) 日野真明 地域ビジネス研究所 中野和久
	自動制御論	施設園芸に使われるシーケンス制御、制御装置、リレー制御、PLC 制御基礎などについて講義	明石工業高等専門学校 電気情報工学科 上 泰
	食農リスク管理論	農畜産物の安全・安心の確保を目的とするトレーサビリティシステムの概要を学び、農産物の生産現場への GAP 導入の実務についても学ぶ。	豊橋技術科学大学名誉教授 平石 明 東北大学名誉教授 三枝正彦 豊橋技術科学大学 田中三郎 イノチオアグリ(株) 山本英治

### 【その他】

教室講義は、講師または会場の都合により一部日程が変更になる場合があります。